

(単位:千円)

事業名	所管課	款名称	項名称	目名称	本年度 当初予算額	補正額	計	補正額の財源内訳				
								特定財源				一般財源
								国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
県営道路事業負担金	土木課	8 土木費	2 道路橋りょう費	1 道路橋りょう 総務費		750	750			700		50
事業の概要と必要性			本年度の計画効果			補正額の特定財源の内訳						
(1)事業の概要 県施行の道路事業に対し、本市負担部分の支払いを行う。 (2)事業の必要性 市内路線の整備、改良が行われることにより、市内の道路交通の安全性、利便性が向上する。そのために負担金を支払い、円滑な事業の推進を図る必要がある。			(1)事業計画 通学路である米子丸山線への歩道設置 内容 負担金額 750千円 (2)事業効果 米子丸山線にかかる負担金を支払うことで、県施行事業が円滑に推進し、結果として市内道路の安全性、利便性が向上する。			財源 地方債	財源名 道路新設改良事業(県営事業負担金)	金額 700	区分 19 負担金補助 及び交付金	金額 750		
											根拠法令	地方財政法第27条、道路法第52条

(単位:千円)

事業名	所管課	款名称	項名称	目名称	本年度 当初予算額	補正額	計	補正額の財源内訳				
								特定財源				一般財源
								国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
狭あい道路拡幅整備事業	維持管理課	8 土木費	2 道路橋りょう費	1 道路橋りょう 総務費	2,054	3,000	5,054	1,500				1,500
事業の概要と必要性			本年度の計画効果			補正額の特定財源の内訳						
(1)事業の概要 道路幅の狭い道路(狭あい道路)は、日常の交通をはじめ、救助活動や緊急時・災害時の避難、採光・通風などの住居環境の支障となっている。これらの問題を改善するため、狭あい道路の整備を行う。 (2)事業の必要性 住民の生活環境の向上と防災面も含め良好な市街地形成を図るため、事業の実施が必要である。			道路幅が4.0m未満の市道と建築基準法第42条第2項に指定されている道路(私道を除く)を対象とし、道路用地の寄附を受け、拡幅整備を行うとともに、門や塀など支障物件を移設する場合に、移設費の一部を助成する。 内容 用地測量委託 1,400千円 市道拡幅整備工事 1,000千円 狭あい道路拡幅事業補助金 600千円			財源 国	財源名 社会資本整備総合交付金(維持管理課)	金額 1,500	区分 13 委託料 15 工事請負費 19 負担金補助 及び交付金	金額 1,400 1,000 600		
											根拠法令	

(単位:千円)

事業名	所管課	款名称	項名称	目名称	本年度 当初予算額	補正額	計	補正額の財源内訳				
								特定財源			一般財源	
								国庫支出金	県支出金	地方債		その他
道路維持補修事業(土木課)	土木課	8 土木費	2 道路橋りょう費	2 道路維持費		14,200	14,200			14,200		
事業の概要と必要性			本年度の計画効果			補正額の特定財源の内訳				節		
(1)事業の概要 市内において道路側溝の排水不良箇所及び舗装面が老朽化して破損等が著しい箇所の修繕を行う。 (2)事業の必要性 地区全体の生活環境の向上や通行車両並びに歩行者の安全を図るために事業の実施が必要である。			道路修繕工事を実施する。 内容 二本木6号線ほか3路線			財源	財源名	金額	区分	金額		
						地方債	道路新設改良事業	14,200	15 工事請負費 17 公有財産購入費 22 補償補填及び賠償金	11,700 500 2,000		
根拠法令												

(単位:千円)

事業名	所管課	款名称	項名称	目名称	本年度 当初予算額	補正額	計	補正額の財源内訳				
								特定財源			一般財源	
								国庫支出金	県支出金	地方債		その他
橋りょう補修事業	維持管理課	8 土木費	2 道路橋りょう費	2 道路維持費		80,000	80,000	44,000		36,000		
事業の概要と必要性			本年度の計画効果			補正額の特定財源の内訳				節		
(1)事業の概要 市道橋りょうの塗装及び補修を行い、橋りょうの延命化を図る。 (2)事業の必要性 年次的計画に基づく橋りょうの補修を行い延命化を図ることが、橋りょうの維持管理費の抑制につながるため、事業の実施が必要である。			市道橋りょう補修のための設計及び工事を行う。 内容 調査設計委託 8橋 24,000千円 向田橋、高坪橋、荒神田橋、月見橋、岬橋、米川橋 山本橋、谷田橋 補修工事 5橋 56,000千円 向田橋、高坪橋、荒神田橋、月見橋、岬橋			財源	財源名	金額	区分	金額		
						国	社会資本整備総合交付金(維持管理課)	44,000	13 委託料 15 工事請負費	24,000 56,000		
根拠法令			地方債 橋りょう整備事業(維持管理課) 36,000									

(単位:千円)

事業名	所管課	款名称	項名称	目名称	本年度 当初予算額	補正額	計	補正額の財源内訳				
								特定財源				一般財源
								国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
歩道のバリアフリー化事業	維持管理課	8 土木費	2 道路橋りょう費	2 道路維持費		54,925	54,925	23,425		31,500		
事業の概要と必要性			本年度の計画効果			補正額の特定財源の内訳				節		
(1)事業の概要 高齢者・障がい者等が自立した日常生活や社会生活を営むことができる環境改善が求められており、本市においては、米子駅を中心とした様々な人が利用する施設が集まった地区において、重点的かつ一体的にバリアフリー化を推進することとしている。			内容 歩道の改良工事の実施 市道富士見町東町線(合同庁舎～国道181号)			財源	財源名	金額	区分	金額		
						国	社会資本整備総合交付金(地域政策課)	23,425	9 旅費 11 需用費 12 役務費	7 391 27		
(2)事業の必要性 当該地区の歩道のバリアフリー化を図るため、点字ブロックの設置や歩道路面の整備(透水性舗装、勾配改善、段差解消等)を実施し、「米子市交通バリアフリー基本構想」に沿った整備を進めていく必要がある。			根拠法令			地方債	歩道のバリアフリー化事業	31,500	15 工事請負費	54,500		

(単位:千円)

事業名	所管課	款名称	項名称	目名称	本年度 当初予算額	補正額	計	補正額の財源内訳				
								特定財源				一般財源
								国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
道路新設改良事業	土木課	8 土木費	2 道路橋りょう費	3 道路新設改良費	33,000	267,000	300,000	205,050		61,900		50
事業の概要と必要性			本年度の計画効果			補正額の特定財源の内訳				節		
(1)事業の概要 道路は、地域住民の生活環境の向上を図るための基本的な施設である。本事業は、狭あい道路の改良を図り、その道路空間を利用することにより、住環境の向上改善を図る。			内容 危険度、困窮度、緊急度の高い路線から年次的に道路の改良工事を実施する。 本年度計画 大山街道線ほか27路線			財源	財源名	金額	区分	金額		
						国	地域の元気臨時交付金(地域経済活性化・雇用創出臨時交付金)	166,000	11 需用費 12 役務費 13 委託料	1,000 500 34,000		
(2)事業の必要性 地域生活環境の向上と交通の円滑化を図るために事業の実施が必要である。			根拠法令			国	社会資本整備総合交付金(土木課)	39,050	15 工事請負費 17 公有財産購入費	198,000 15,500		
						地方債	道路新設改良事業	61,900	22 補償補填及び賠償金	18,000		

(単位:千円)

事業名	所管課	款名称	項名称	目名称	本年度 当初予算額	補正額	計	補正額の財源内訳				
								特定財源				一般財源
								国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
日本中央競馬会事業所周辺環境整備事業	土木課	8 土木費	2 道路橋りょう費	3 道路新設改良費		30,600	30,600			7,400	23,120	80
事業の概要と必要性			本年度の計画効果			補正額の特定財源の内訳						
(1)事業の概要 日本中央競馬会から、ウインズ周辺2km範囲の公共事業に対して環境整備費が交付される制度を利用し、道路・水路等の環境整備を図る。 (2)事業の必要性 地域生活環境の向上を図るために事業の実施が必要である。			道路改良工事を実施する。 内容 大崎西11号線 計画延長 L=125m			財源	財源名	金額	区分	金額		
						諸収入	日本中央競馬会環境整備交付金	23,120	15 工事請負費	30,600		
						地方債	道路新設改良事業	7,400				
根拠法令												

(単位:千円)

事業名	所管課	款名称	項名称	目名称	本年度 当初予算額	補正額	計	補正額の財源内訳				
								特定財源				一般財源
								国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
市道和田浜団地大篠津西2号線改良事業	土木課	8 土木費	2 道路橋りょう費	5 市町村道整備事業費		10,000	10,000	5,500		4,500		
事業の概要と必要性			本年度の計画効果			補正額の特定財源の内訳						
(1)事業の概要 都市計画道路葭津和田町線の整備により、葭津和田町線とJR境線との交差部が立体交差になる。当該路線の出入に当っては、側道が設置されるが、和田浜工業団地内において、大型車の場合、側道から国道431号方面への乗り入れが出来ない箇所ができるため、本路線の整備を行う。 (2)事業の必要性 都市計画道路は県の協力により県道として整備することから、本路線の整備効果及び団地内の円滑な交通確保については市において協力する必要がある、都市計画道路の整備に併せた市道整備が必要である。			事業計画を立てるための測量調査設計に着手する。 内容 計画延長 L=450m			財源	財源名	金額	区分	金額		
						国	社会資本整備総合交付金(土木課)	5,500	13 委託料	10,000		
						地方債	市町村道整備事業(土木課)	4,500				
根拠法令												

(単位:千円)

事業名	所管課	款名称	項名称	目名称	本年度 当初予算額	補正額	計	補正額の財源内訳				一般財源
								特定財源				
								国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
市道富士見町東福原線改良事業	土木課	8 土木費	2 道路橋りょう費	5 市町村道整備事業費		36,000	36,000	19,250		16,700		50
事業の概要と必要性			本年度の計画効果			補正額の特定財源の内訳				節		
(1)事業の概要 本路線は、国道181号から東福原方面に抜ける生活道路として位置づけられ、朝夕の通勤通学時において、車両及び自転車、歩行者の往来が頻繁であり、舗装整備と併せて踏切改良を行う。			踏切改良と歩道整備を行う。 内容 計画延長 L=20m 幅員 W=7.0m			財源		財源名	金額	区分	金額	
						国	社会資本整備総合交付金(土木課)	19,250	12 役務費	1,000		
(2)事業の必要性 当該踏切は幅員が狭く、列車通過後の遮断機開放時において、双方向の車両及び自転車、歩行者が混在する危険な状態であるため、踏切事故防止及び道路交通の円滑化のために事業の実施が必要である。						地方債		市町村道整備事業(土木課)	16,700	17 公有財産購入費	3,000	
								19 負担金補助及び交付金	32,000			
根拠法令												

(単位:千円)

事業名	所管課	款名称	項名称	目名称	本年度 当初予算額	補正額	計	補正額の財源内訳				一般財源
								特定財源				
								国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
市道大篠津西10号線改良事業	土木課	8 土木費	2 道路橋りょう費	5 市町村道整備事業費		7,000	7,000	3,410		3,500		90
事業の概要と必要性			本年度の計画効果			補正額の特定財源の内訳				節		
(1)事業の概要 都市計画道路葭津和田町線の整備により、葭津和田町線とJR境線との交差部が立体交差になる。当該路線の出入に当っては、側道が設置されるが、和田浜工業団地内において、大型車の場合、側道から国道431号方面への乗り入れが出来ない箇所ができるため、本路線の整備を行う。			事業計画を立てるための測量調査設計に着手する。 内容 計画延長 L=240m			財源		財源名	金額	区分	金額	
						国	社会資本整備総合交付金(土木課)	3,410	11 需用費	200		
(2)事業の必要性 都市計画道路は県の協力により県道として整備することから、本路線の整備効果及び団地内の円滑な交通確保については市において協力する必要がある、都市計画道路の整備に併せた市道整備が必要である。						地方債		市町村道整備事業(土木課)	3,500	12 役務費	500	
								13 委託料	5,000			
根拠法令												

(単位:千円)

事業名	所管課	款名称	項名称	目名称	本年度 当初予算額	補正額	計	補正額の財源内訳				一般財源
								特定財源				
								国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
市道尾高福万線(福尾橋架替)事業	土木課	8 土木費	2 道路橋りょう費	5 市町村道整備事業費		10,000	10,000	5,500		4,500		
事業の概要と必要性			本年度の計画効果			補正額の特定財源の内訳				節		
(1)事業の概要 尾高福万線は、河岡地区にある河岡グリーンハイツの出入口に接している市道であり、佐陀川に架かる福尾橋は伯仙小学校の通学路に指定され、南側の大半の児童(約200名)が利用している市道橋であり、当該市道橋の架替えを行う。			事業計画を立てるための測量調査設計に着手する。 内容 橋長 L=43.7m 幅員 W=4.0m			財源		財源名	金額	区分	金額	
						国	社会資本整備総合交付金(土木課)	5,500	13 委託料	10,000		
(2)事業の必要性 通学時間帯には、通行車両も多く、橋の幅員も狭く、歩道スペースも無いことから、通学時に橋を渡る児童が通行車両によって常に危険な状態を強いられているため、事業の実施が必要である。						地方債		市町村道整備事業(土木課)	4,500			
根拠法令												

(単位:千円)

事業名	所管課	款名称	項名称	目名称	本年度 当初予算額	補正額	計	補正額の財源内訳				一般財源
								特定財源				
								国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
市道大篠津西9号線改良事業	商工課	8 土木費	2 道路橋りょう費	5 市町村道整備事業費		10,000	10,000	5,500		4,500		
事業の概要と必要性			本年度の計画効果			補正額の特定財源の内訳				節		
(1)事業の概要 和田浜工業団地内の市道大篠津西9号線を拡幅整備する。			事業計画をたてるための測量調査、設計に着手する。 内容 計画延長 L=370m (市道弓ヶ浜中央線から米川付近まで)			財源		財源名	金額	区分	金額	
						国	社会資本整備総合交付金(商工課)	5,500	13 委託料	10,000		
(2)事業の必要性 和田浜工業団地内への企業進出計画に伴って、新たに進出する企業の事業活動を確保するとともに、さらなる企業立地の促進と現存立地企業の円滑な事業活動を確保するため、事業の実施が必要である。						地方債		市町村道整備事業(商工課)	4,500			
根拠法令												

(単位:千円)

事業名	所管課	款名称	項名称	目名称	本年度 当初予算額	補正額	計	補正額の財源内訳				一般財源
								特定財源				
								国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
基地周辺整備事業	土木課	8 土木費	2 道路橋りょう費	6 基地周辺整備事業費		86,700	86,700	86,700				
事業の概要と必要性			本年度の計画効果			補正額の特定財源の内訳				節		
(1)事業の概要 美保基地周辺の狭あい道路の改良を行う。 (2)事業の必要性 狭あい道路の改良を行うことにより、救急及び緊急車輛の通行を確保するとともに、地域住民の避難路として役目を果たすこととなる。住環境の改善を図るために事業の実施が必要である。			美保基地周辺道路の改良工事を実施する。 内容 大崎西17号線ほか6路線			財源	財源名	金額	区分	金額		
						国	特定防衛施設周辺整備調整交付金 (土木課)	86,700	2 給料 9 旅費 11 需用費 12 役務費 13 委託料 14 使用料及び 賃借料 15 工事請負費 17 公有財産購 入費	840 435 2,974 300 23,000 151 28,000 31,000		
根拠法令												

(単位:千円)

事業名	所管課	款名称	項名称	目名称	本年度 当初予算額	補正額	計	補正額の財源内訳				一般財源
								特定財源				
								国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
排水路維持補修事業	土木課	8 土木費	3 河川排水路費	2 排水路維持費		14,950	14,950					14,950
事業の概要と必要性			本年度の計画効果			補正額の特定財源の内訳				節		
(1)事業の概要 排水不良の既設水路の改修及び補修を実施する。 (2)事業の必要性 雨水及び生活雑排水の排水を容易にし、大雨等による浸水・冠水を防止するとともに生活環境の改善を図り、快適で不安のない市民生活を実現するために事業の実施が必要である。			既設水路の改修及び補修により、浸水及び排水不良の改善を図る。 内容 上和田東15号線排水路ほか2路線			財源	財源名	金額	区分	金額		
									13 委託料 15 工事請負費 22 補償補填及 び賠償金	750 13,400 800		
根拠法令												

(単位:千円)

事業名	所管課	款名称	項名称	目名称	本年度 当初予算額	補正額	計	補正額の財源内訳				
								特定財源				一般財源
								国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
排水路新設改良事業	土木課	8 土木費	3 河川排水路費	4 排水路新設改良費		104,600	104,600	85,600		19,000		
事業の概要と必要性			本年度の計画効果			補正額の特定財源の内訳				節		
(1)事業の概要 市内の排水路の通水機能の向上を図るため、緊急性の高い排水路から年次的に改良を行う。			①護岸の改良により、浸水被害の解消を図る。 内容 実施箇所 和田新川、塩川、中間川			財源	財源名	金額	区分	金額		
						国	地域の元気臨時交付金(地域経済活性化・雇用創出臨時交付金)	65,000	11 需用費 12 役務費	544 56		
(2)事業の必要性 浸水被害を解消し、市民生活環境の向上を図るために事業の実施が必要である。			②排水路の改良により、浸水被害の解消を図る。 内容 実施箇所 夜見東9号線排水路			国	社会資本整備総合交付金(土木課)	20,600	15 工事請負費 22 補償補填及び賠償金	93,500 10,500		
						地方債	排水路新設改良事業	19,000				
根拠法令												

(単位:千円)

事業名	所管課	款名称	項名称	目名称	本年度 当初予算額	補正額	計	補正額の財源内訳				
								特定財源				一般財源
								国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
旧加茂川・寺町周辺地区街なみ環境整備事業	都市計画課	8 土木費	4 都市計画費	1 都市計画総務費		3,632	3,632	1,500	498		1,634	
事業の概要と必要性			本年度の計画効果			補正額の特定財源の内訳				節		
(1)事業の概要 旧加茂川・寺町周辺地区約24haは、歴史的資産や歴史的風致を形成している街なみを有する地域として、平成11年に景観形成地域に指定され、歴史的景観の保全・継承・住環境の向上を図るため、平成17年度より地区住民と市が協働で街なみ整備を進めている。平成22年度からは社会資本整備総合交付金制度に変更になったことにより、平成25年度までの事業計画に基づき事業を進めている。			街なみに配慮した住宅の改造に対する助成の実施 内容 街なみ整備助成事業補助金 3件 3,498千円			財源	財源名	金額	区分	金額		
						国	社会資本整備総合交付金(都市計画課)	1,500	9 旅費 11 需用費	7 107		
(2)事業の必要性 住民は、街なみに配慮した住宅の改造、敷地の緑化等を行い、市は街なみに配慮した小公園の整備を行うことにより、旧加茂川・寺町周辺地区がもつ土蔵や町屋景観などの歴史的景観の保全・継承・住環境の向上を図る必要がある。						県	鳥取県とつとりの美しい街なみづくり補助金	498	12 役務費 19 負担金補助及び交付金	20 3,498		
根拠法令			米子市景観計画、米子市景観条例									

(単位:千円)

事業名	所管課	款名称	項名称	目名称	本年度 当初予算額	補正額	計	補正額の財源内訳				
								特定財源				一般財源
								国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
県営街路事業負担金	土木課	8 土木費	4 都市計画費	1 都市計画総務費		33,343	33,343			33,300		43
事業の概要と必要性			本年度の計画効果			補正額の特定財源の内訳				節		
(1)事業の概要 県施行の街路事業に対し、本市負担部分の支払いを行う。			目久美町石井線及び葭津和田町線にかかる負担金を支払うことで、県施行事業が円滑に推進し、結果として市内道路の安全性、利便性が向上する。			補正額の特定財源の内訳				節		
						財源	財源名	金額	区分	金額		
(2)事業の必要性 市内各路線の整備、改良が行われることにより、市内の道路交通の安全性、利便性が向上する。そのために負担金を支払い、円滑な事業の推進を図ることが必要である。			内容 負担金額 33,343千円			地方債	街路事業(県営事業負担金)	33,300	19 負担金補助及び交付金	33,343		
						根拠法令 地方財政法27条						

(単位:千円)

事業名	所管課	款名称	項名称	目名称	本年度 当初予算額	補正額	計	補正額の財源内訳				
								特定財源				一般財源
								国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
都市公園管理事業	維持管理課	8 土木費	4 都市計画費	2 公園費	159,295	16,000	175,295	16,000				
事業の概要と必要性			本年度の計画効果			補正額の特定財源の内訳				節		
(1)事業の概要 市内各地に広がる都市公園や緑地等を適切に維持管理を行う。			下水道未接続の都市公園の便所について、下水道接続及び水洗化を行う。 また、地下水質の変化により、採水できなくなっている皆生海浜公園の噴水用水井戸の代替井戸を新たに設置し、噴水施設の補修を行う。			補正額の特定財源の内訳				節		
						財源	財源名	金額	区分	金額		
(2)事業の必要性 都市公園及び緑地等の利用者にとって、安心して安全で快適に利用できるように事業を実施する必要がある。			内容 都市公園便所下水道接続水洗化 13,000千円 西福原公園、福米西公園、御所原公園 三柳上谷公園、福市公園 皆生海浜公園噴水補修 3,000千円 取水ポンプ設備工事等			国	地域の元気臨時交付金(地域経済活性化・雇用創出臨時交付金)	16,000	15 工事請負費	16,000		
						根拠法令 都市公園法、同法施行令、同法施行規則、米子市都市公園条例、米子市公有財産規則						

(単位:千円)

事業名	所管課	款名称	項名称	目名称	本年度 当初予算額	補正額	計	補正額の財源内訳				
								特定財源				一般財源
								国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
市営住宅管理事業	建築住宅課	8 土木費	5 住宅費	1 住宅管理費	112,145	12,000	124,145					12,000
事業の概要と必要性			本年度の計画効果			補正額の特定財源の内訳					節	
(1)事業の概要 市営住宅の修繕事業 (2)事業の必要性 既存住宅の修繕を行い、居住性の向上を図る。			(1)事業計画 市営住宅居住性向上修繕 12,000千円 (2)事業効果 既存住宅の修繕を行うことにより、市営住宅全体における居住性の向上が図られる。			財源	財源名	金額	区分	金額		
									15 工事請負費	12,000		
根拠法令 公営住宅法、建築基準法												

(単位:千円)

事業名	所管課	款名称	項名称	目名称	本年度 当初予算額	補正額	計	補正額の財源内訳				
								特定財源				一般財源
								国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
市営五千石住宅建替事業	建築住宅課	8 土木費	5 住宅費	2 住宅建設費		11,100	11,100	5,550		5,500		50
事業の概要と必要性			本年度の計画効果			補正額の特定財源の内訳					節	
(1)事業の概要 市営五千石住宅は、昭和41～43年度に建設したもので、住戸水準も低いことから、平成21～27年度において住宅建替えを実施する。 (2)事業の必要性 住宅建替えを実施することにより、入居者の居住水準の向上を図るとともに、良好なバリアフリー住戸を建設し、世代やハンディキャップを超えて住民が共生できる住宅団地を創造する。			(1)事業計画 既設住宅62戸分の除却、駐車場整備工事の実施設計を行う。 (2)事業効果 新市まちづくり計画及び社会資本総合整備計画に基づき、中長期にわたる公営住宅供給を行い、良好な住環境整備を実施する。			財源	財源名	金額	区分	金額		
						国	社会資本整備総合交付金(建築住宅課)	5,550	13 委託料 22 補償補填及び賠償金	10,200 900		
根拠法令 公営住宅法						地方債	公営住宅建設事業	5,100				
						地方債	公営住宅駐車場等整備事業	400				